

## ウィスコンシン大学オシュコシュ校学生が知事を表敬訪問



政府が進めている北米地域との青少年交流事業の一環として来日したウィスコンシン大学オシュコシュ校の学生25人が、5月21日に森田健作千葉県知事を表敬訪問しました。学生たちは、表敬に先立ち、千葉県とウィスコンシン州との姉妹交流の概要や千葉ウィスコンシン協会の役割について説明を受け、知事の登場を待ちました。

多目的ホールに現れた森田知事は、子どもの頃からのアメリカへの憧れや3年前に訪問したウィスコンシン州ドイル知事との思い出などを交え、歓迎のスピーチを行いました。そして、「房総半島に行く機会があったら、安くて美味しい房総の海鮮丼をぜひ味わってほしい。」と千葉県をアピール。ユーモアあふれる知事の挨拶は、学生達をリラックスさせ、会場を和ませました。



笑顔で挨拶する  
森田健作千葉県知事

学生の代表として、ダン・スキナーさんら3人は、「姉妹県である千葉県に来ることができ本当に嬉しい。大学やキッカーマン等を訪問し沢山の人の人に出会ったが、皆親切でフレンドリーだった。帰国したら千葉のことを家族や友達に話したい。」と日本語でスピーチを行い、知事へ謝意を伝えました。

全員で記念撮影をした後、CWAを代表し、赤田靖英副会長が1990年の姉妹提携調印に取材記者として同行した思い出などを披露。「両県州の若者達が、アメリカと日本、ウィスコンシン州と千葉県のつながりを深めるため、これから大いに交流してほしい。」と期待を語り、セレモニーは終了しました。